

郡上市

令和元年度事例

【地域の概要】

- 郡上市は、岐阜県の中心部に位置する中山間地域で、小規模な農地が多く存在している。
- 平成16年に7地域が合併し郡上市となった。南北に長い市であり標高差があるため、北部と南部での作付内容、農業経営状態も異なっている。
- 主要作物は、水稻、夏秋トマト、だいこんなど。
- 高齢化率が高くなっており、後継者不足の問題がある。また、担い手も不足している。

取組開始前の状況や課題

- 高齢化や後継者がいない農家が多く、5年後に農業経営を続けることができないという意見が出ている
- 地域の集落でも、このままでは農地の維持ができないという漠然とした不安を抱えていたが、集落の将来について、皆で集まって話し合いを行う機会は無かったため、現状について把握が出来ていない
- 鳥獣害防止対策や、畦畔の草刈り等、担い手が対応している状況であり、担い手への地域内の協力が得られていない

取組内容

- 各7地域で重点地域を定め、地域内における現状の問題点を、集落の皆さんと農業委員・農地利用最適化推進委員と共に洗い出す「重点地区会議」を開催
- 重点地区会議の内容（抜粋）
 - ・アンケートを実施して、農家の意向を確認し、現在の担い手の耕作状況を地図に落とし込むことにより、分散錯圃状況を目で確認
 - ・担い手の意向を盛り込んだ人・農地プランを策定し、集落への協力を依頼



重点地区会議の様子

今後の展開と方向性

- 人・農地プランを基にして、地域内の将来を考えた話し合いが年に数回開催されるように、農業委員・農地利用最適化推進委員が、コーディネーター役として、地域に入り込む
- 担い手同士の耕作農地の交換による分散錯圃の解消や、耕作地引き受けのための集落への条件提示の調整等、担い手内の話し合いの場を設ける
- 人・農地プランの策定、実質化が行われていない地域については、引き続き、策定、実質化に向けて、重点地区会議を開催
- ☆農業委員・農地利用最適化推進委員が、地域内の話し合いや担い手内の話し合いの場にコーディネーターとして参加し、適切な説明ができるように、研修を行い、知識を取得してもらう